

【2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査】 9月時点でインターンシップ等の参加割合は約7割

インターンシップ等の参加割合は2022年卒から約1.5倍に
Web参加が定着。前年減少した対面参加は増加

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、「2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査」を実施しました。2022年9月時点の調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

Web・対面ともに、業務の一部を経験できるプログラムの満足度が高い



所長 栗田 貴祥

今回の調査では、2024年卒学生の「インターンシップの参加状況や満足度」について調査しました。9月時点でインターンシップ等に参加した学生は73.8%と2023年卒と比べて5.4ポイント増加し、46.8%だった2022年卒からは約1.5倍に増加しました。また、インターンシップ等の参加社数は平均5.61社と23年卒の5.30社から微増ですが、内訳を見ると、23年卒で減少した対面参加件数は増加、Web参加件数は高い値を維持しており、Web参加の定

着・対面参加機会の増加が、特徴の一つと言えるでしょう。インターンシップ等のプログラム内容別の参加形態については、業務の一部を経験できるようなプログラムにおいて、対面での参加割合の増加が目立ちました。また、プログラム内容の満足度を見ると、Web・対面参加ともに「社員の基幹的な業務の一部を経験する」が最も高くなっています。学生から寄せられたインターンシップ等に対する不安についてのコメントでは、インターンシップの選考に通過できなかった場合に本選考を受けるか迷うという声も聞かれました。しかし、インターンシップに参加できなかったからといって、本選考の応募をあきらめる必要はありません。引き続き就職活動のために必要な準備を進めていただきたいと思います。

■活動経験割合と参加割合（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答）
(%)

	活動経験者		活動予定者	活動予定なし
	インターンシップ・1day仕事体験参加あり	インターンシップ・1day仕事体験参加なし		
●凡例				
2024年卒	73.8	6.3	19.2	0.7
2023年卒	68.4	8.8	21.7	1.1
2022年卒	46.8	13.1	34.4	5.6

※2024年卒調査、2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

調査概要

■2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査

調査目的：2024年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査方法：インターネット調査

調査対象：『リクナビ2024』（※）会員より、2024年3月卒業予定の大学生および大学院生

調査期間：2022年9月20日～26日

回答者数：大学生 1,213人 大学院生 377人

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/2024/>

◀調査結果を見る際の注意点▶

- ・%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している
- ・「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- ・2024年卒業を「2024年卒」と表記

◀調査の集計について▶

・「2022年9月時点での進路の志望状況」で①～⑥のいずれかを選択した回答者を「就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む」として集計する

■2022年9月時点での進路の志望状況（大学生／複数回答）

	n数	① まだ志望進路を決めていない	② 民間企業に就職したい	③ 公務員として就職したい	④ 教員として就職したい	⑤ 医師・ 歯科医師・ 看護師として 就職したい	⑥ 公務員・ 教員・医師・ 歯科医師・ 看護師以外で 民間企業では ない組織・ 団体に 就職したい	⑦ 起業したい	⑧ 大学院等へ 進学したい	⑨ 留学したい	⑩ 留年するので 卒業しない	⑪ その他
卒業後の志望進路	1,213	14.8%	74.4%	18.0%	3.1%	0.4%	4.0%	2.5%	8.4%	2.3%	0.2%	0.8%

■掲載内容

- P.3 インターンシップ・1day仕事体験への応募・参加割合
- P.4 インターンシップ・1day仕事体験への応募・参加状況
- P.5 インターンシップ・1day仕事体験に応募したきっかけ
- P.6 インターンシップ・1day仕事体験参加のための準備
- P.7 これから実施を予定している取り組み
- P.8 インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向
- P.9 インターンシップ・1day仕事体験の参加形態別満足度
- P.10 インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加形態
- P.11 インターンシップ・1day仕事体験プログラム内容の参加形態別満足度
- P.12 インターンシップ・1day仕事体験のプログラムに対して期待すること/不安に感じること

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

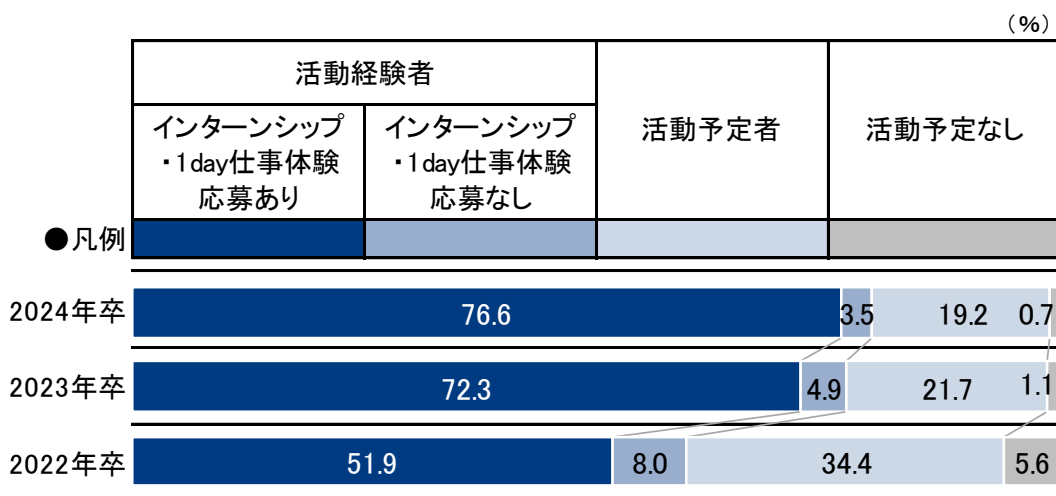
リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

インターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は全体の73.8%

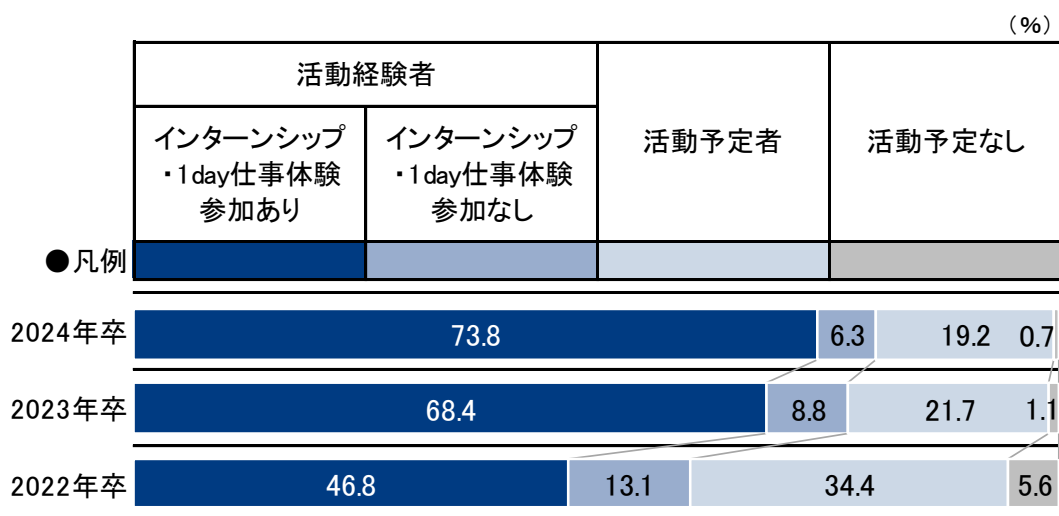
・インターンシップ・1day仕事体験に応募した学生は就職意向者（まだ志望進路を決めていない含む）全体のうち76.6%であった。また、インターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は就職意向者（まだ志望進路を決めていない含む）全体の73.8%であった。

・2022年卒の参加割合46.8%から約1.5倍に増加。

■活動経験割合とインターンシップ・1day仕事体験の応募割合
（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答）



■活動経験割合とインターンシップ・1day仕事体験の参加割合（再掲）
（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答）



※2024年卒調査、2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

インターンシップ・1day仕事体験への平均参加件数は、Webが4.31件、対面が1.38件

- ・Webのプログラムの経験割合は2023年卒とほぼ同じだが、対面のプログラムの経験割合は増加。
- ・平均参加社数は5.61社で23年卒に比べ若干増加。形態別の参加件数を見ると、Webが23年卒に比べると若干減少した一方、対面は増加した。

■インターンシップ・1day仕事体験の応募・参加状況
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/数値回答)

▽2024年卒	n数	経験割合(%)	経験割合(%)		平均数(社)	参加件数(件)	
			Web(%)	対面(%)		Web(件)	対面(件)
応募	941	95.6	-	-	9.32	-	-
参加	941	92.2	83.9	59.4	5.61	4.31	1.38

▽2023年卒	n数	経験割合(%)	経験割合(%)		平均数(社)	参加件数(件)	
			Web(%)	対面(%)		Web(件)	対面(件)
応募	1,606	93.7	-	-	9.03	-	-
参加	1,606	88.6	83.8	36.5	5.30	4.58	0.72

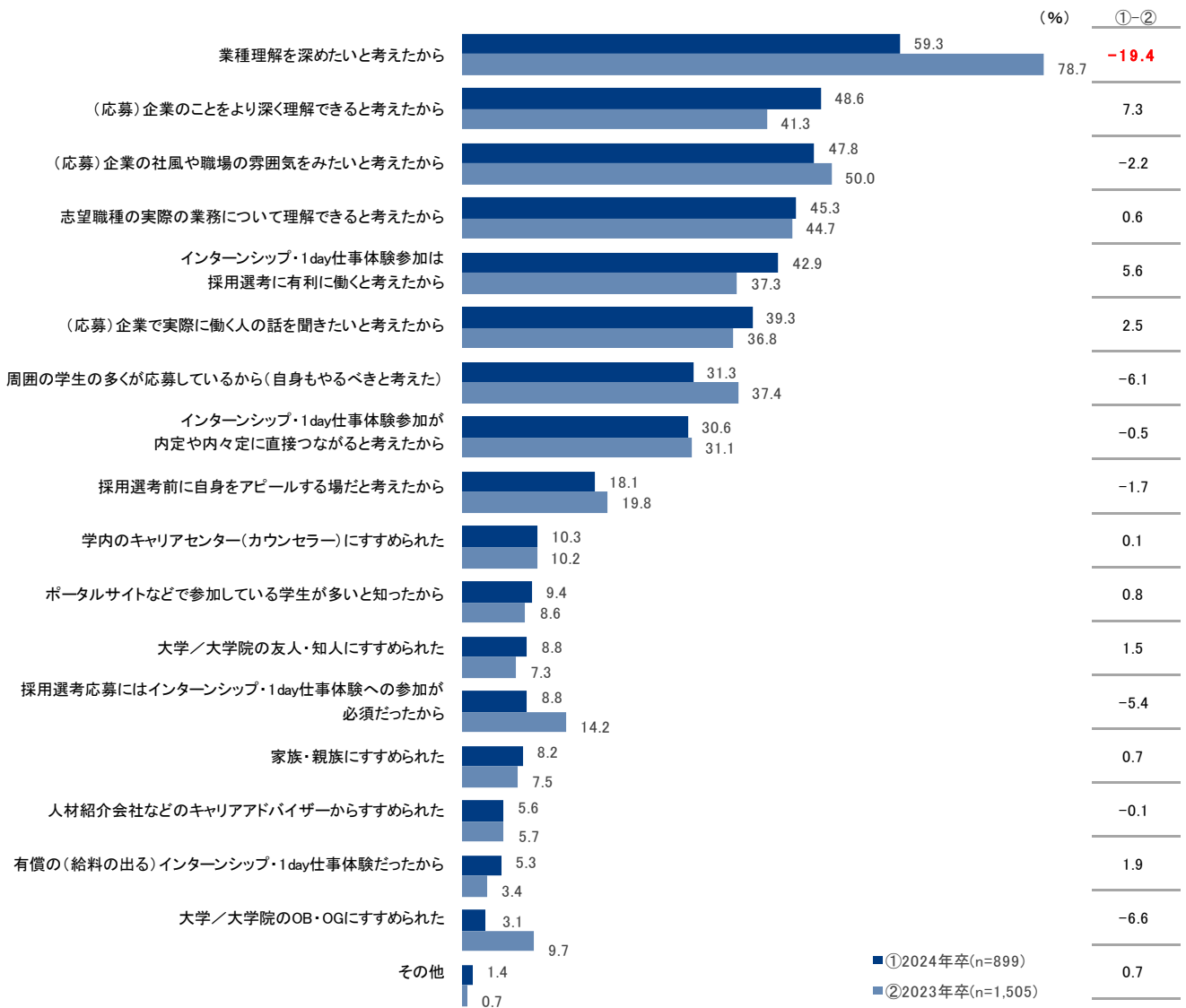
▽2022年卒	n数	経験割合(%)	経験割合(%)		平均数(社)	参加件数(件)	
			Web(%)	対面(%)		Web(件)	対面(件)
応募	1,140	86.6	-	-	8.12	-	-
参加	1,140	78.1	70.9	51.3	4.03	3.19	1.33

※2024年卒調査、2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

応募したきっかけは「業種理解を深めたいと考えたから」が最も高い

・インターンシップに応募したきっかけを聴取すると、高いものから順に「業種理解を深めたいと考えたから」「(応募)企業のことをより深く理解できると考えたから」「(応募)企業の社風や職場の雰囲気を見たいと考えたから」であった。

■ インターンシップ・1day仕事体験に応募したきっかけ
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験応募者/複数回答)



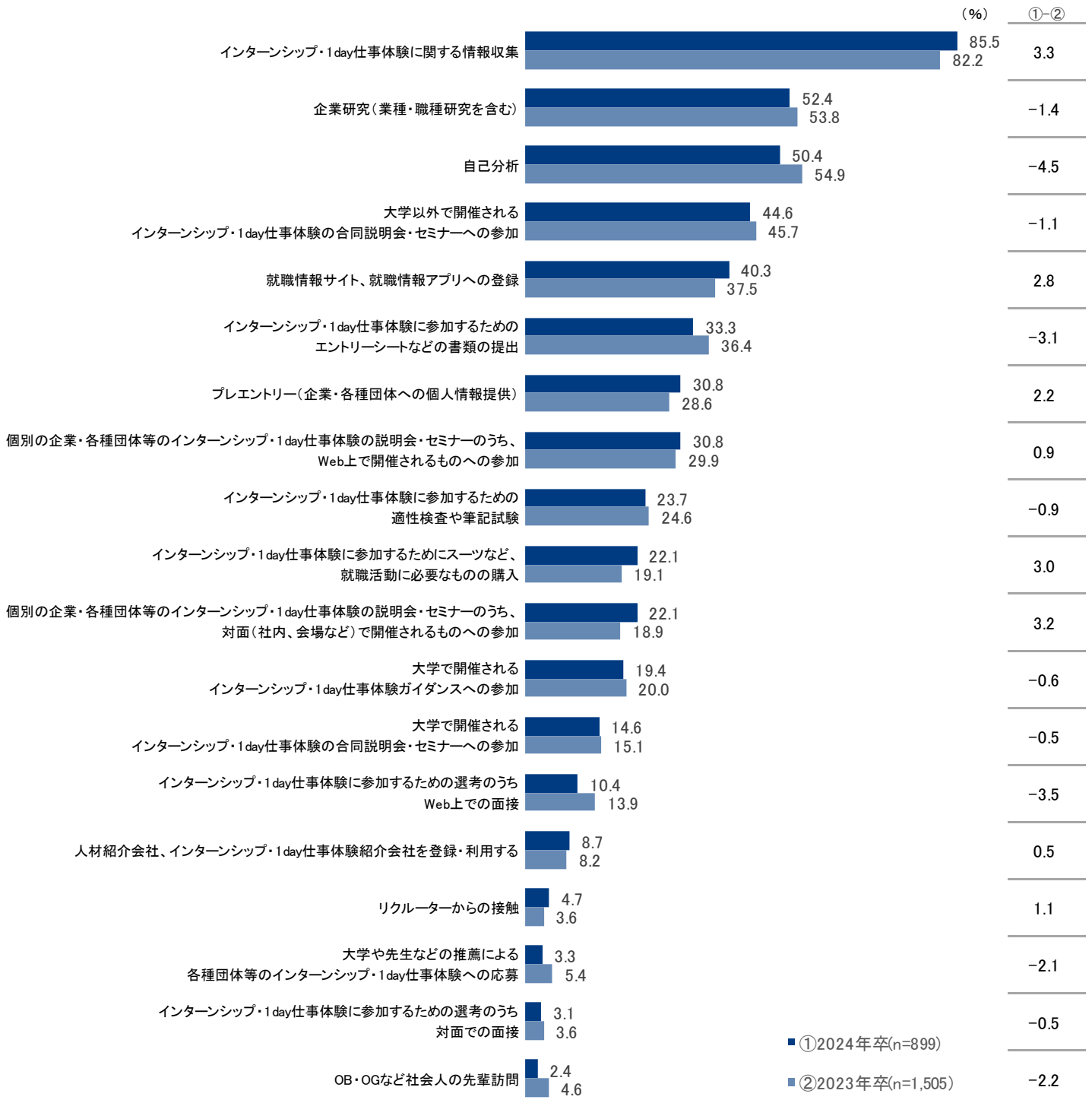
※10ポイント以上の差を赤字で表記

インターンシップ・1day仕事体験参加のための準備は、「情報収集」が最高

・インターンシップ・1day仕事体験参加のために準備したことを聴取すると、高いものから順に「インターンシップ・1day仕事体験に関する情報収集」「企業研究（業種・職種研究を含む）」「自己分析」であった。

■ インターンシップ・1day仕事体験参加のための準備

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験応募者/複数回答)



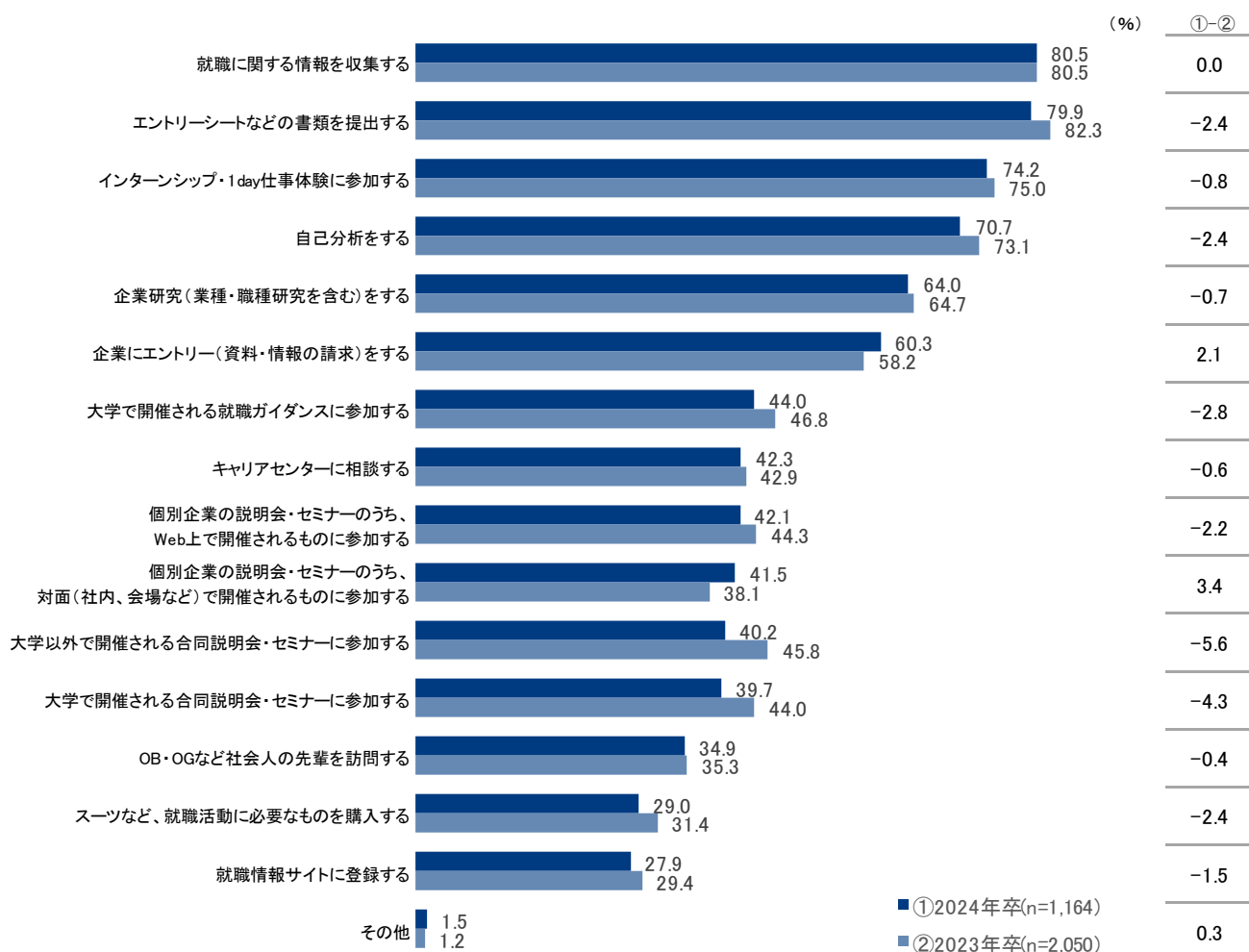
※「その他」「あてはまるものはない」を除く

実施予定の取り組みは、「就職に関する情報を収集する」が最高

・これから実施を予定している取り組みを聴取すると、高いものから順に「就職に関する情報を収集する」「エントリーシートなどの書類を提出する」「インターンシップ・1day仕事体験に参加する」であった。

■これから実施を予定している取り組み

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動実施者または活動予定者／複数回答)



約9割の学生が、今後インターンシップ・1day仕事体験への参加を予定

・インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向に関しては、約9割の学生が参加を予定していると回答した。また、そのうち「志望業界・業種に関わらず参加予定」の学生が約4割となった。

■ インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動実施者または活動予定者/単一回答)

	参加予定 (志望している業界・業種のみ)	参加予定 (志望していない業界・業種のみ)	参加予定 (志望業界・業種に関わらず)	参加予定なし	(%)
2024年卒(n=1,164)	46.3	4.2	40.2	9.3	
2023年卒(n=2,050)	50.7	4.6	37.3	7.4	

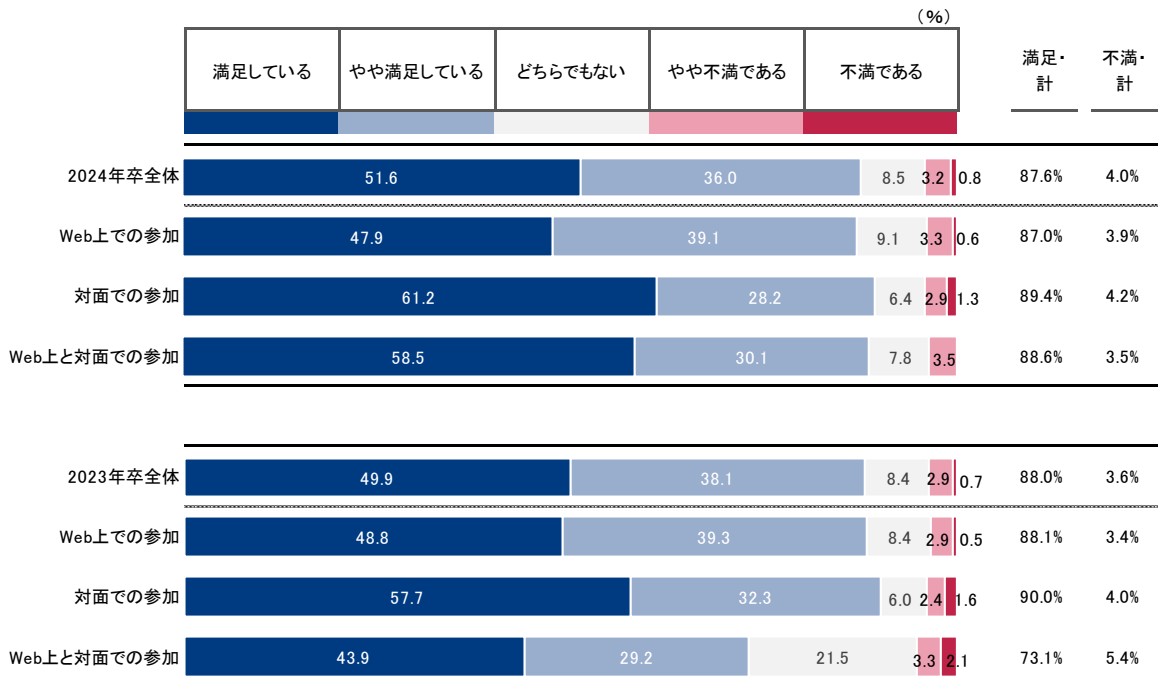
※「志望業界・業種に関わらず」には、「志望している/していない業界・業種のインターンシップ・1day仕事体験」どちらにも参加を予定している、「参加するインターンシップ・1day仕事体験の業界・業種は特に決めていないが、参加する予定である」を含む

満足度は2023年卒と同程度。対面での参加の方が満足度が高い

・インターンシップ・1day仕事体験の参加後の満足度について、「満足している」「やや満足している」と回答した割合は全体で87.6%、参加形態別ではWeb上での参加が87.0%、対面での参加が89.4%とともに23年卒と同程度。

■インターンシップ・1day仕事体験参加形態別満足度

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／インターンシップ・1day仕事体験参加企業最大5社分についてそれぞれ単一回答で聴取したものを合計)



※n数：(2024年卒) 全体：3,165、Web上での参加：2,247、対面での参加：828、Webと対面での参加：87
(2023年卒) 全体：4,962、Web上での参加：4,194、対面での参加：646、Webと対面での参加：119

業務の一部を経験できるようなプログラムにおいて、対面での参加割合の増加が目立つ

・インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別に参加形態を聴取すると、「業種や企業の説明を受ける」「新規事業についてワークやディスカッションなどをする」「直接社員に質問できる質問会など」「社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする」の順でWeb上での参加割合が高かった。

・一方、「職場や工場の見学」「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する」の順で対面での参加割合が高く、これらは2023年卒と比べても増加が目立った。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加形態

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ単一回答で聴取したものを合計)

	Web上での参加		対面での参加		Web上と対面での参加		その他	
	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	前年差
全体	71.0	-13.6	26.1	13.1	2.7	0.3	0.1	0.0
業種や企業の説明を受ける	72.5	-13.1	25.2	12.6	2.3	0.6	—	-0.1
新規事業について ワークやディスカッションなどをする	70.6	-16.0	26.4	14.9	3.0	1.2	—	-0.1
直接社員に質問できる質問会など	70.2	-15.1	27.2	14.4	2.6	0.7	—	—
社会的な課題やテーマについて ワークやディスカッションなどをする	70.2	-15.1	25.1	13.3	4.7	1.8	—	—
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	67.6	-16.2	28.6	15.4	3.8	0.8	—	—
自己分析をする	66.7	-17.5	28.2	15.8	5.2	1.8	—	—
社員の基幹的な業務の一部を経験する	62.5	-17.7	33.8	16.9	3.7	1.0	—	-0.2
社員の補助的な業務の一部を経験する	47.5	-20.8	47.5	19.0	5.0	1.8	—	—
アルバイトやパートタイマーが行う 業務の一部を経験する	34.7	-24.9	55.1	23.9	10.2	1.1	—	—
職場や工場の見学	31.3	-22.8	64.3	22.7	4.4	0.1	—	—
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	31.2	-24.8	61.7	23.1	7.1	1.7	—	—

※「Web上での参加」の数字の大きい順に掲載、「その他」は除く

※集計軸（インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容）は、インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ複数回答で聴取したものを合計

対面参加の方が満足度が高い傾向

・インターンシップ・1day仕事体験プログラム内容の満足度を参加形態別に見ると、「満足している」の回答割合は、Web・対面参加ともに「社員の基幹的な業務の一部を経験する」が最も高かった。いずれのプログラムでも、対面参加の方が満足度が高い様子がうかがえる。

■参加形態別インターンシップ・1day仕事体験プログラム内容の満足度（「満足している」回答割合）
 （大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／
 インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ単一回答で聴取したものを合計）

プログラム内容	2024年卒				2023年卒	
	Web		対面		Web	対面
	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	(%)
社員の基幹的な業務の一部を経験する	57.2	0.8	76.1	8.2	56.4	67.9
社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	55.9	0.0	66.0	5.0	55.9	61.0
新規事業についてワークやディスカッションなどをする	55.2	-0.7	66.2	4.2	55.9	62.0
職場や工場の見学	53.7	2.9	69.6	2.6	50.8	67.0
自己分析をする	50.6	-0.3	61.6	8.1	50.9	53.5
直接社員に質問できる質問会など	50.5	-1.3	65.4	0.9	51.8	64.5
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	49.1	-2.0	68.1	7.6	51.1	60.5
アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する	48.7	4.2	65.8	13.5	44.5	52.3
業種や企業の説明を受ける	48.1	-1.3	64.6	2.4	49.4	62.2
社員の補助的な業務の一部を経験する	47.3	-9.9	70.7	8.7	57.2	62.0
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	33.2	-19.3	69.4	2.9	52.5	66.5

※2024年卒の「Web」の数値の大きい順に掲載、「その他」を除く

※集計軸（インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容）は、インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ複数回答で聴取したものを合計

期待することは「深い」もしくは「幅広い」理解、不安に感じることは本選考への影響

・インターンシップ等参加者に、インターンシップ等に対して期待することについて聴取すると、業界、企業、業務内容への理解を深めることや、幅広く業種を理解することなどがあがった。また、インターンシップ等に対して不安に感じることは、「参加できなかつたら選考が不利になる」のではないかという本選考への影響などがあがった。

■インターンシップ・1day仕事体験プログラムに対する期待（大学生／自由回答）

コメント	文理・性別	インターンシップ・1day仕事体験参加社数
その業界についての理解を深めること、また企業についての理解を深めること。実際の仕事がどのようなものなのか体験できること。	文系女性	7
業務内容について詳しく知れること、職場の雰囲気自分が合っているかどうか知れることを期待します。	理系女性	2
対面では社内の雰囲気、業務内容の体験。webでは、会社の業務内容の理解と社員の雰囲気。	理系男性	5
インターンシップに参加することで早期選考に繋がればいい。	文系女性	1
幅広く業界研究ができること。	文系女性	3
自分がやりたいことや業種を広く探せること。	文系女性	6

■インターンシップ・1day仕事体験プログラムに対する不安（大学生／自由回答）

コメント	文理・性別	インターンシップ・1day仕事体験参加社数
インターンシップの参加の是非によって本選考に影響が出てくるのではないかと不安です。	理系男性	2
参加した人特典がよくあるので、参加できなかつたら選考が不利になるのかと思うと、インターンの時点で落ちた企業には選考を出すべきなのか迷う。	文系女性	10
早期選考に直結しているかいないかが不明なインターンがあることについて不安に感じている。	文系男性	15
エントリーシートが必要な企業の選考に全て落選したため、「ES」に対して不安感がある。また、4社しか結果として参加できなかったため、少ないか不安である。	文系男性	4
グループワークの文字があると不安だった。コミュニケーションが苦手なので、グループワークがあるところは極力避けていた。	文系女性	3
1dayのオンラインインターンシップばかりで、対面でのインターンシップの経験がないこと。	文系女性	5